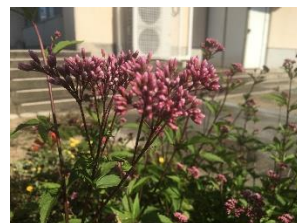


花いっぱい

学校教育目標 《子どもたちに、夢・笑顔・やる気・元気を！》



「会社をつくろう」の取り組み

11月21日(土)に、5・6年生が総合的な学習の時間で取り組んできた「会社をつくろう」の販売活動を株式会社フューチャー・ファーム・コミュニティ三重からのご支援をいただき、「朝津味」さんで、行いました。本年度は、「高野尾カラフル Smile クローバーショップ」と会社名をつけ、「ラオスの人、お客さん、みんなが繋がりますように！」との思いをもった取り組みでした。高野尾小学校では、毎年、高学年の「総合的な学習の時間」の学習の一つとして起業家教育プログラム「会社をつくろう」に取り組んでいます。パーチャルカンパニーとして会社を設立、商品の開発・製作・販売を行い、収益金は一部を国際支援に役立てるなどして有効に使っています。

今年の商品も、保護者や地域の方にお世話になり、作成したオリジナル商品と、高野尾小学校の畑で育てた新鮮な野菜です。4つのブースに分かれ、手芸品として「シャ車っとカーテン」「マッスくん」「マッスくんのおうち」「ティッシュのおうち」「ボタピンちゃん」「香るアロマストーン」、陶芸品として「親子でかわいいえとろくん」「フラワーお香立て」「ファミリーはし置き」、畑の作物として「さつまいも」「さといも」、そして、ナカジマやさんの協力による「高野尾スイートポテト」「たかみいな」を販売しました。



新型コロナウイルス感染防止のために、例年とは違う販売方法でしたが、5・6年生が、開店準備、販売活動、片づけを協力し合って行うことができました。開店前から多くの方々に集まっていただき、開店後はたくさん商品を買っていただき、閉店時間の10時30分にはほぼ完売することができました。



一連の活動を通して、「自分自身でよりよい選択・決定を行う」、「目標達成までの過程で出会う問題や葛藤に向き合い、仲間と協力して解決していく」、という、キャリア教育のめざす素晴らしい体験をすることができました。そして、この取組から学んだことをこれからの学習や活動、生き方・考え方に大いに生かしてくれるものと期待しています。

本年も、収益金のうち40,000円をラオスのピアラー小学校の子どもたちの教育に役立ててもらえるよう、アジア教育友好協会(AEFA)のお世話になり、寄付します。この交流活動を通して、本校の子どもたちがラオスの学校や文化を理解し、ピアラー小学校の子どもたちを身近に感じていることを大事にしていきたいと考えています。

「会社を作ろう」の取り組みに、ご支援ご協力いただきありがとうございました。



これからの高野尾小学校における日常的な感染症対策について

新型コロナウイルスの第3波が到来しており、警戒レベルを引き上げている都道府県も徐々に出てきております。三重県も、少しずつではありますが、感染者が増えている状況です。

高野尾小学校では、日ごろから日常的な感染症対策を実施しておりますが、引き続き、下記の感染症対策を実施し、コロナウイルス感染予防に努めてまいります。

ご家庭・地域の方々についても、ご協力をお願いします。

- (1) 朝、健康観察カードを持ってくる場合、職員室に来て、職員が検温し、風邪症状を確認します。(健康観察カードへの記入は引き続き、ご家庭でお願いします。)
- (2) 登下校時・休憩時等に外から校舎に入るとき、共用の用具・物品を使用した時、掃除後及びトイレ使用後は、石鹼を使って手洗いをするか、手指消毒液を使います。
- (3) 児童・教職員とも、屋内では基本的にマスクを着用します。
- (4) 教室及び廊下の窓・教室の入り口は、対角線上で開放をして常時換気をします。室温が低いときは、エアコン及び加湿器を使用します。その時は、休み時間ごとに窓及び入り口を大きく開放します。
- (5) 教室の座席間隔を1m50cm以上開けます。1年教室・学習室(2・3年使用)・4年教室・6年教室については座席間隔を2m以上にします。
- (6) 給食時は、対面とならないように座席配置をし、静かに食べます。
- (7) 給食時は、食品添加物アルコール除菌剤で配膳台および机を拭き、給食当番は手指消毒液を使います。また、給食の前後には、石鹼を使って手洗いをするか、手指消毒液を使います。
- (8) 登下校時について、マスクを着用するようにします。
- (9) 多くの児童が触れる階段手摺・ノブ・スイッチ等の消毒を1日1回以上行います。
- (10) 体育科における学習については、マスクを着用しなくてもよいことにします。また、基本的には2mの間隔をあけての活動とし、授業の前後に石鹼を使っての手洗いをするか、手指消毒液を使います。

